



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

## THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER  
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17  
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN  
 PHONE (06)344-1717

# CENTENNIAL

### THEME (1984~'85)

- I. P. 「今こそ行動のとき」
- R. D. 「限りなき熱情を奉仕に」
- D. G. 「奉仕と誠をもって前進しよう」
- P. 「創ろう新しい伝統を」

◆「キリスト教・ブリテン」強調月間く日本区

#### 12月例会プログラム

〈クリスマス・ファミリー祝会〉

とき 12月15日(土) 17:30~20:30

ところ 大阪YMCA会館 9階集会室

- 第I部 例会 司会 浦野啓一君
1. 開 会 中村 会長
  2. ワイズソング 一 同
  3. ゲスト紹介 中村 会長
  4. 誕生日のお祝い "
  5. インフォメーション・YMCAニュース
  6. 閉 会 中村 会長
- 第II部 晩さん会 司会 藤井保男君
1. 食前感謝 「日々の糧を」 一 同
  2. 乾 杯
  3. 家族紹介
  4. ゲ ー ム
  5. プレゼント交換 サンタクロース
- 第III部 キャンドルサービス 司会 中川徹太郎
1. キャロル 112番 もろびとこぞりて
  2. 聖 書 ミカ書 5番2~4 コメット
  3. キャロル 103番 まきびとひつじを
  4. 聖 書 ルカによる福音書 2章8~14 コメット
  5. キャロル 111番 かみのみこは
  6. 聖 書 ヨハネによる福音書 1章1~5 コメット
  7. キャロル 106番 あらののはてに
  8. 祈 り
  9. キャロル 109番 きよしこのよる
  10. クリスマスメッセージ 中村 会長
  11. キャロル 98番 あめにはさかえ

▼ 会 費 メン・メネット 4,000円  
 コメット 1,000円

▼交換プレゼント(500円程度)を各自1個お持ち下さい。

Dec. 1984. Ⅱ-6

#### 1984~1985 役員

会 長	中村隆幸	書 記	堀 利満
副 会 長	山田孝彦	"	藤井保男
"	長安敏夫	会 計	柴田 健
直前会長	山中秀男	"	浦野啓一
担当主事	田中 穰二		

◆ 第2例会

と き 12月19日(水) 18:30~20:30

と ころ YMCA国際・社会奉仕センター

Again he said, "What shall we say the Kingdom of God is like, or what parable shall we use to describe it?"

It is like a mustard seed, which is the smallest seed you plant in the ground. Yet when planted, it grows and becomes the largest of all garden plants, with such big branches that the birds of the air can perch in its shade."

さらにイエスは言った。「神の国を何にたとえようか。どのようなたとえで示そうか。それはからし種のようなものである。土にまくときには、地上のどんな種よりも小さいが、まくと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作れるほど大きな枝を張る。」  
 (マルコスによる福音 第4章30節~32節)

#### 11月例会出席者(在籍会員36名)

	第1例会	第2例会	Make up	累 計
メ ン	20名	11名	4名	24名
出 席 率	55.56%			66.67%
メ ネット	4名			
コメット	1名			
ゲ ス ト	2名			
ヴィジター	2名			
計	29名	11名	4名	

○ゲスト 中繁芳久君(西出君)、村田貞夫君(谷川君)

○ヴィジター 石田直和君(大阪サウス クラブ)

橋本 隆君(大阪河内 クラブ)

○メネット 鈴木、谷川、中村、山中 各メネット

○コメット 中村 圭ちゃん

◆ B Fポイント なし



▼ 第1例会の記録

1. 当月のスピーカーは、わがセンテニアルクラブが誇る女流税理士 上月姉より、日頃皆さん関心をもちながらなかなかその機会に恵まれない「知らないとお金を払う税金の話」についてご指導頂いた。

内容に関しては各所で講演されている豊富なキャリアや、ご自身が読売新聞等に掲載された色々なケースについて、懇切丁寧に分かりやすく説明がなされたため、一同興味深さもさることながら、終盤には非常に儲かったというような顔付きになっていた。



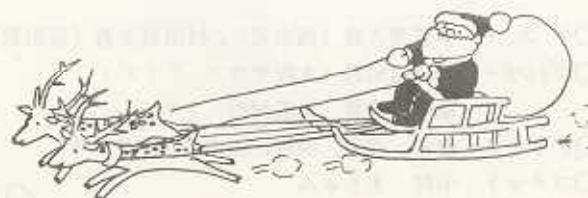
わかりやすく税金の話をされる上月姉

なお、税金でお困りの方、内々でご相談されたい方は、別に時間をとりますので適宜申し入れて下さいとのことでした。

2. 中村会長みずからの儀式により、福永嘉彦君、多田幸子姉の入会式が厳粛な中に執り行われ、決意も新たに宣誓の言葉が力強く発せられた。これで当クラブの会員数もチャーター時点より2名増員となり、36名となった。



力強く宣誓される福永君と多田姉



▼ 第2例会の記録

1. 12月例会(クリスマス・ファミリー祝会)のプログラムの決定

- ・ 出欠の状況を早目に知る必要があるため、通常月のブリテン発送日は別便にて行い確認する。
- ・ 交換プレゼントは、500円程度のものを出席者全員が、それぞれ1個ずつ持参する。

2. 新年合同例会に関する打合せ

- ・ 運営及び推進担当者を決定し、近々に打合せ会を行うことにした。
- ・ ドアプライズの賞品については、山村、杉本 両君が検討し対応することになった。

▼ お誕生日おめでとう

黒田 巖之 君	1922年12月 2日
堀 利満 君	1942年12月 2日
杉本恭之助 君	1925年12月 6日
上月 英子 姉	12月13日
瀬戸 慶子 メネット	12月15日
阪田 一夫 君	1916年12月20日
中村 隆幸 君	1942年12月26日

今月の聖句によせて

黒田 巖之

神の国とはイエス・キリストを通して示された神の教えと理解すればよいと思いますが、その「神の教え」とはどんなものか、それをキリストはからし種にたとえておられます。小さなからし種が、土にまかれ、成長して何千、何万倍の大きさに育つ。土とは私たちの心であり、神の教えを受入れる人びとのこころを指します。ひと言の小さな教えでも、それを受入れるときに、そしてそれを心の中で成長させるときに、その人の生き方、人格をつくり変えるほどに大きい力を発揮するものであることを教えています。私はこの簡単なことばでも、祈りの気持ちをこめて書いております。どうぞよくこの聖句の意味をお考え下さい。

新入会員紹介

- ▽ 福永 嘉彦 1926年1月9日生  
滋子 2月16日生  
Yoshihiko Fukunaga・Shigeko  
〒565 吹田市山田西4-6-1-1212  
06-876-1422
- 関西女子短期大学(学校)  
〒582 柏原市旭ヶ丘3-11-1  
0729-77-6561
- ▽ 多田 幸子 7月22日生  
Yukiko Tada  
〒543 大阪市天王寺区筆ヶ崎町3-1  
大阪広告美術ビル 402号  
06-773-3046
- 大阪赤十字病院 (病院)  
〒543 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-53  
06-771-5131

# ・ THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA-CENTENNIAL ・

## ▼ 昭和60年度台湾区大会のご案内

日 時 3月30日～4月1日  
場 所 墨丁国立公園 青少年活動センター  
ホストクラブ 台東区屏東クラブ

## ▼ 呼子高原ワーク・キャンプのご案内

日 時 1985年4月27日(土)28日(日) 2泊3日  
土曜日昼すぎ出発 月曜夕方帰阪

場 所 大阪YMCA呼子高原センター  
鳥取県日野郡日南町管沢呼子

TEL. 08598-7-0156

現地管理棟宿泊 自炊

人 数 約 30名 (メン・メネット)

プログラム 呼子高原の下見と現在行なわれている造林  
作業の根起しとシイタケ栽培作業の応援

費 用 約 20,000円

交 通 往復共貸切バス



## ▼ B・F (ブラザーフッドファンド)

委員から特にお願い。

ご承知の通りB・Fはワイズメン運動の一番典型ともいわれ、歴史も古い事業です。世界各地のワイズメンが古切手を一枚一枚水洗いして、さし出したものがあつめられて有効に処分され、他のキャッシュポイント(切手の代りにキャッシュで出す点数)とあわせて最近一年間に14万ドル(3,300万円)にもなったことをご存じですか。そしてそのうち4万ドルは日本が作ったものです。これらの資金は最もワイズらしい有益有効な用途に用いられています。成績優秀区はDefund制度によって更に有益に用いられています。

わがクラブではチャーター以来、委員の方々の熱心なご努力が実を結んでB・Fへの理解が大いに進みましたが、今年度(昭和59年7月から)に入ってから古切手の提出がスローダウンしていることは否めません。

中村会長は例会ごとに、「たとえ一枚でも持参して下さい」と懇願しておられます。水洗いのヒマの無い方はそのまゝでも結構です。一定のときに委員が代行します。記念切手をお願いします。正月になるとC.Sのためのお年玉切手あつめになりますので、出来れば来たる12月15日のクリスマス例会にためておられる古切手を多少に拘わらずご持参下さることを特にお願い申し上げます。当日、受付にて鈴木にお渡し下さい。

## ▼ ヌアヌクラブとのブラザークラブ締結書

すでに、わがセンチニアルクラブとブラザークラブを締結し、今日まで、種々の活動を展開してまいりました。しかし、書類上の交換が遅れておりましたが、このたび両クラブの締結書が次の通り取交されましたので紹介します。



## ▼ 「第三の波」とワイズメンズクラブ 谷川 寛

21世紀に私たちがどんな世の中を迎えるか、なかなか予測は難しいのですが、アルビン・トフラーの云うように、人類はいまや、産業時代・工業化社会を脱して、情報化時代・脱工業化社会を迎えようとしているようです。

先日、彼の「第三の波」を今度は英語で読んでいましたら興味ある箇所につづかりましたので、御紹介します。

The electronic cottage could help restore a sense of community belonging, and touch off a renaissance among voluntary organizations like churches, women's groups, lodges, clubs, athletic and youth organizations. The electronic cottage could mean more of what sociologists, with their love of German jargon, call *gemeinschaft*.

(エレクトロニック住宅は地域社会への帰属感をよみがえらせ、都会や、婦人団体、地域の集まり、奉仕クラブ、青年団といった自発的な組織を復活させるきっかけとなるでしょう。エレクトロニック住宅とは、社会学者が好んで使うドイツ語の専門用語「共同社会」を、もう少し拡大した概念であると言っていい。)

即ち、エレクトロニック住宅の時代になりますと、トフラーの言では、みんな朝のラッシュに電車にもまれて通勤の必要がなくなり、自宅勤務が一般化します。

そうしますと、家庭で働く労働者(即ち、私たち)は、仕事が終わる、夕方になると、みんな家を出て来て、人びとに会い、交り、地域社会の活動に積極的に参加します。そして、ワイズメンズ・クラブのようなボランティア・オガニゼーションに属し、活動します。その結果、ワイズのようなクラブが盛んになる、というわけです。

したがって、みなさんのように(私も含めて)、今すでに、ワイズメンズ・クラブに入っている人は、先見の明があったと云うわけです。みなさんの御意見は如何でしょう。

▼ヌアスクラブ “優秀ブレティン賞”受賞

1983/84年度アメリカ・エリアの優秀ブレティンの中に、再度、ヌアヌ・クラブのブレティンが選ばれました。ハワイ区で選ばれたのは、ヌアヌクラブと、他にマウイ・クラブの二つです。

アメリカの各クラブのブレティンは、新聞や雑誌と同じく、各々名前がついており、いろんなのがあります。

興味がある方も、あるかもしれません。以下は優秀ブレティンのリストです。(谷川)



1984 HONOR BULLETIN AWARDS

- |   |  |  |
|---|--|--|
| Y'SOR DIVYEN<br>WORDS TO THE Y'S<br>THE Y'KODI<br>THE CORN HUSKER   | Nakville, E.<br>Richmond, Ill<br>Crown, Iowa<br>Washington, Iowa   | Del Kinney<br>Robert L. Smith<br>Bill Dukymy<br>Mike Mullins &<br>Mike Callaghan   |
| Y'S KRAK<br>Y'S SHEETS<br>WORDS TO THE Y'S<br>THE Y'S WORDS<br>MUSKOGEE Y'S MENTION<br>Y'S MEN'S PATTERN<br>Y'S MEN'S DANCING                   | Downtown Minnesota, Wn<br>J.R. Wolf, Cde, Knoxville, NC<br>Laacalle Spray, NC<br>Sawyer's Newsstand Pa.<br>Muskogee, Mich.<br>Pittston, NJ<br>Salem, Oregon                                    | Kevin Callaghan<br>Paul Melton<br>James M. Butler<br>Charles Norris<br>Harold W. Brooks<br>Bob Hill & Dr. Thomas<br>Frances Dan &<br>Mildred Burdick   |
| Y'S MEN'S CLUB BULLETIN<br>Y'SOM OF BIG SKY COUNTRY<br>Y'S Y'S<br>NOON Y'S MEN<br>Y'S Y'S<br>TEL-A-Y'S LINE<br>THE SADDLEHORSE<br>HUIANG Y'S UP | Yakima, Wash.<br>Hercules, Mont.<br>Indianapolis, Ind.<br>Cape May, N.J.<br>San Jose, Ca.<br>Madison, Wis. Ca.<br>Hickory, N.C.  | Tony Sapiro<br>Lynn Mckeown<br>Tom Heston<br>Hal Caldwell<br>Jim Hunsaker<br>Dwight & Phyllis<br>Marjorie Sherman<br>Robert Kuwahara &<br>Larry Hranek   |
| DAWIGHT Y'S<br>CENTRAL Y'S MEN'S ACTIVATOR<br>EARLY Y'S<br>Y'SLY SPEAKING<br>THE WHITTIER<br>Y'S CHAIRMAN<br>Y'S UP<br>Y'S 2M UP                | Bellevue, Wash. D.C.<br>Fresno, Ca.<br>Kearney, Neb.<br>Huntington Park, Ca.<br>Wabash, Ca.<br>Pasadena, Ca.<br>Ingleside, Ca.<br>Oakville, Ca.  | Paul Andrews<br>Bill Carl<br>Joe Anderson<br>Lester W. Jacob, Jr.<br>Norman Dwyer<br>Kerwin Hoover<br>Del O'Leary<br>Ruth Macdon<br>Audrey Miller<br>Virginia White<br>Lynn Fowler<br>Tate Fox<br>Leon Forman<br>Blaine J. Clark<br>Les Wright<br>Vivian Carlton-Johnson<br>Frances Mulholland<br>Tony Donovan |
| Y'S WORDS TO THE Y'S<br>Y'S WORDS<br>URBANI<br>Y'S GURU<br>A WORD FOR THE Y'S<br>CONSISTENT<br>NEWSLETTER<br>LIVE IT UP<br>THE MASON TENDLER    | Fulleton, Ca.<br>San Pedro, Ca.<br>Long Beach-Lipton, L.B., Ca.<br>Long Beach, Ca. (via Alton)<br>Cincinnati, Ca.<br>J. McManis, San Diego, Ca.<br>Fremont, California, Ca.<br>San Valley, Ca. |  |

EVYEN THOMAS  
1984 BULLETIN AWARDS COORDINATOR

メネットのページ

ボクシング・デイ (BOXING DAY)

— カナダのクリスマス — 谷川有美子

カナダのモントリオールは、緯度でいうと、北海道より遙かに北に位置しています。クリスマスの頃になると、雪に覆われた日が多くなります。あれは、もう15年も前になりますが、私達がいた年もホワイト・クリスマスでした。

雪化粧した家々の窓から、豆電球の点滅するクリスマス・トリーが見えて、とてもきれいです。クリスマスの当日はもちろん祭日で何処もお休みですが、その翌日の26日もお休みになります。この日をボクシング・デイと呼びます。

この日の朝、各家々のメール・ボックスに色とりどりの包装紙に包まれたプレゼントが吊されます。消防署などには、子供達がクリスマス・ボックスを届けます。クリスマスの日も休みなく働いているメーラン (郵便配達のおじさん)、おまわりさん、消防士の人々に、感謝のプレゼントをする日なのです。

真白な雪の中に立つメールボックス。そこに吊された小さなプレゼントの箱。なんとも言えない心のぬくもりが、伝わってきます。ボクシングと言うのは、男共の大好きな「拳闘」のことではなく、クリスマス・ボックスの「ボックス」に語源があるようです。カナダを含め英連邦の国々では、12月26日を、このように呼んで、祭りにしています。カナダのあと、ニューヨークに移り住みましたが、お隣りのアメリカには、このような習慣は根づかなかったようです。

最近の日本では、商業主義ののっかって、必要以上に贈物をする風潮がありますが、日本にも、このような感謝の日が、一年に一日、あってもいいような気がします。

▼中西部合同例会

日時 1985年1月12日(土) 午後5時~8時  
登録受付 4時

会場 大阪YMCA会館2階ホール

会費 12月31日以前納入の場合  
メン・メネット 5,000円  
コメット 2,500円  
1月1日以降納入の場合  
メン・メネット 6,000円  
コメット 3,000円

ホストクラブ 大阪センテニアルクラブ



▼ワイズメンズクラブ国際協会

第40回 日本区大会

日時 1985年6月8日(土) 13時より  
6月9日(日) 11時40分迄

会場 主会場 伊東市観光会館  
宿舎 海辺のサンハトヤ  
山のハトヤホテル

登録費 12月31日まで  
メン 26,000円  
メネット 25,000円  
3月31日まで  
メン 28,000円  
メネット 27,000円  
締切り以後  
メン 30,000円  
メネット 29,000円

ホストクラブ 伊東ワイズメンズクラブ